

「家庭学習の手引き」作成にあたって

1. はじめに（校長先生）
家庭学習の大切さ
 - ・家庭学習は、将来の夢や進路の実現するための土台である。
2. 食育と学習の関係（小出先生）
 - ・正しい生活習慣の育成が授業に集中させる。
 - ・朝食を摂ることが授業に集中させるポイントである。（学力が高くなる）
3. 生活と学習（喜多先生）
 - ・落ち着いた生活こそが、学力を向上させる。
4. 授業と家庭学習（山下ま）
 - ・「授業がわかる」ことが家庭学習を充実させる。
 - ・授業の予習と復習
5. 各教科の学習の仕方（九教科）・・・（A 4の要旨1枚に）
 1. 日常生活の中での学習
 - ・「こんなことに注意して生活して欲しい」
 2. 「授業がわかる」ための学習ポイント
 - ・こんな点に注意して授業を受ければ授業がわかる。
 - ・五教科は必ず次の2項目を入れてください。
 - ・予習の仕方について
 - ・復習の仕方について

英語の学習方法

1. 日常生活の中での学習

- ・町には英語が氾濫しています。登下校の機会にいろいろな英語を探してみましょう。
- ・改まって英語を書くのは大変なことです。生活記録「いずみ」の空欄に一行だけでも英語を書いてみましょう。(一行日記の実践)
- ・日本の音楽だけでなく、海外の様々な音楽を聴いて、英語のリズムを体で覚えていきましょう。
- ・見たものを英語で実況中継してみましょう。
- ・ALTには、できるだけ英語で話しかけてみましょう。

2. 授業がわかるための 学習のポイント

(1) 積極的に取り組もう！(すぐにあきらめない)

①考えをもつ

英語で質問されているときは、たとえ自分が指名されていないでも自分なりの答えをきちんと考えておきましょう。たとえ、指名されてもすぐに答えることができますよ！また、それが自分の力にもなります。

②考えを磨く

友だちの答えをしっかりと聞こう。友だちがどんなことを考えたり、思ったりしているかを聞くことは、自分の考えを更に向上させる源になります。

(2) 音声を大切にしよう！

授業中に音読練習をしますが、(大げさなくらい)口を動かして、しっかり声にだして練習しましょう。また、[th][l][r]などの音にも注意しながら音読練習をすれば綴りも覚えやすくなります。

(内容を理解して読むことも大切です。)

(2) 予習の仕方

本文を黙読して、自分の「理解できること」と「理解できないこと」をチェックするだけで十分です。

(3) 復習の仕方

①音読

「読書百遍意自ずから通ず」と昔の人は言っていましたが、100回とは言いませんが、少なからずとも毎日10回は教科書を声を出して読みましょう。

②基本文型の定着

今日学習したところを、学校で配布したワークを使って定着させましょう。

③単語や連語の暗記

自主勉ノートなどに単語や連語を書いて覚えましょう。(この時も声を出して書いて覚えましょう。)